

1. 評価結果概要表

平成 21年 3月 30日

【評価実施概要】

事業所番号	2070500588		
法人名	特定非営利活動法人ひだまり		
事業所名	グループホームひだまり		
所在地	飯田市駄科846番地1 (電話) 0265-26-1047		
評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成21年3月27日	評価確定日	平成21年4月22日

【情報提供票より】(21年 2月 15日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13年 8月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤6人	非常勤2人 常勤換算7.2人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	一日650円 19,500 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	250 円	昼食 250 円
	夕食	350 円	おやつ 円
	または1日当たり		円

(4) 利用者の概要 (2月 15日 現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 9 名
要介護1	2名	要介護2	4名
要介護3	1名	要介護4	1名
要介護5	1名	要支援2	
年齢	平均 84.6 歳	最低 78 歳	最高 91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	健和会病院
---------	-------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームひだまりは、認知症を抱える家族の会(名称:ひだまりの会)からの強い要望により、立ち上げられたグループホームである。ホームは民家を改修し、豊かな自然環境に囲まれゆったりとした暮らしを楽しんでいる。玄関先には、四季の草花が植えられ、そこにはベンチや椅子が置かれていて、利用者同士や近所の訪問者も交えての楽しい交流の場となっている。ホームの職員は、経験豊かな職員を始め、利用者一人ひとりの思いを尊重し、サービスに熱意を持ち取り組んでいる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回実施された評価項目の変更はあったものの改善課題とその後の取組は未実施であるが、職員は評価の必要性を理解できている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	自己評価の取組は、職員全員で出来なかったが、管理者がまとめて作成した。この評価結果を職員会や運営委員会などで検討しながら改善を要する項目については、今後課題として取り組む姿勢を持っている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	2ヶ月に1回定期的に実施している。委員会では、現状報告や説明を行い各委員の意見を得てホームの運営やサービスに活かされている。今後委員のメンバーも更に検討しながら、ホームのモニター役になってもらい意見の反映がされ取り組まれている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	家族の面会時、その都度利用者の状況を報告している。特別な変化があった場合は、速やかに家族に電話連絡をとっている。又利用者のホームでの生活状況が解る様「ひだまりだより」を発行している。家族等からの苦情相談窓口は重要事項説明書に明記している。特に意見等表せる機会は持っていない。今後、家族等の意見、要望等意識的に問う場所づくりや外部に表せる機会づくりを期待する。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	ホームとして、地域のつながりを大切に、いろいろな機会を通じて連携をとっている。ホームは地域の伍組に加入し、ゴミ当番も行い、更に地域のふれあい交流や灯籠流し、文化祭の作品展示等にも参加し、行事等を利用しながら地域との交流を図っている。また、隣の人が寄っていただいて一緒にお茶を飲んだり、利用者が遊びに行くなどの付き合いもある。近所からは野菜や果物が届けられる。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初からの理念はあるが、職員の入れ替わり等があり、理念の浸透が希薄であり共有が出来ていない。		これまでの理念を見直し、地域密着型サービスの役割を考えながら事業所としての理念を作り上げる事を検討しているので、ホームとして明確な理念になる事を期待する。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の採用時には、理念があることは伝えているが、日ごとのサービスの提供場面や職員会等での共有が出来ていない。		押し付けの理念でなく家族や地域、職員等解り易く、実践に活かされる理念を作ろうと検討されているので、管理者と職員が共に認識し合える理念を期待する。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の伍組に加入し、ゴミ当番も行っている。更に地域のふれあい交流や灯籠流し、文化祭の作品展示等も参加し、地域住民との交流を図っている。また、隣の人に寄っていただき一緒にお茶を飲んだり、利用者が遊びに行くなどの付き合いもある。近所からは野菜や果物が届けられる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者及び職員は、自己評価と外部評価実施の意義を理解しているが、外部評価の実施に当たり、自己点検は出来ていない。		評価の活用についての職員の理解や評価の過程を通じての質の確保、又運営者管理者の評価に取り組む姿勢が求められるので、この評価を通じて、職員会等で具体的に取り組むことが望まれる。

グループホームひだまり

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回開催している。会議では、ホームの概要報告と意見交換等され、各委員の意見を得てホームの運営やサービスの活かされている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>行政担当者には、事業運営等の相談等必要時行っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の面会時等、その都度利用者の状況は報告している。特別な変化があった場合は、その都度速やかに電話連絡している。又利用者のホームでの生活状況が解るよう「ひだまりだより」の便りを発行している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情相談窓口を重要事項説明書に明記している。特に意見等表せる機会は持っていないが、契約時に家族等には、苦情等意見を頂く様伝えている。</p>		<p>安心の運営提供には、家族等の意見、要望等を意識的に問う場所作り、又家族及び職員との対等な関係作りを積極的に外部に表せる機会作りを期待する。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動があった場合は、利用者に職員が馴染めるよう関係作りに配慮するなどダメージがないようにしている。</p>		

グループホームひだまり

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>自己研修等を行っているが、研修への位置付けが計画的に不十分である。</p>		<p>職員が、介護従事者として質を向上させていけるよう、日常的に学ぶ機会を確保していく事を期待する。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホームからの見学、研修の受入れは積極的に行っているが、グループホーム連絡会などへの参加機会がないため、同業者との情報交換や近隣グループホーム相互評価などの交流機会が少ない。</p>		<p>管理者、職員は、同業者の交流にも参加し、意見交換や施設の相互評価など通じて、事業所運営や質の確保を行い、更なるサービスの向上を期待する。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になんか馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居希望時は、利用者の状態に合わせて柔軟に対応し、利用者が馴染みやすいよう家族とも十分に話し合いホームでの生活に反映できるよう工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>四季の行事、漬物の漬け方、掃除の仕方等を教えてもらったり、他人の悪口を言わない利用者の後姿を見て、人生の先輩として生活の知恵や生き方など学ぶ事が多い。「おかげだなー」と利用者からいたわってもらったり、共に支え合える関係づくりをしている。</p>		

グループホームひだまり

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常行動等から判断し、職員間で相談し合いながら把握している。把握が困難な時は、利用者の居室、散歩など職員と利用者が1対1になる機会を利用して、思いを聴くと共に、ホームの都合に合わせることをないように留意している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>毎月の職員会で、ケアプランの見直しを行っているが、本人や家族からの意見や思い等が介護計画に反映されていない。</p>		<p>職員会では、利用者状況の把握のみならず、本人がより良く暮らすためのケアのあり方について、本人の願いや長期目標、短期目標を明確にした、利用者本位の介護計画に沿った検討を期待する。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は、一人ひとりと日々の生活をしながら職員が情報を確認し、定期的に見直しを行っている。利用者の身体状況や思いに応じて計画の見直しを充実するよう検討している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者のかかりつけ医の通院介助、又近くの特設のデイサービスとも連携を行い、多様な支援を行っている。</p>		

グループホームひだまり

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者に対し、ホームとしての医療機関を指定することはなく、今までのかかりつけ医の医療を受けられるよう支援している。必要な場合はかかりつけ医の往診があり、各科の協力医療機関との関係を築いている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用者・家族とも、重度化した場合について話し合いがされていないので、職員関係者も方針の共有不十分である。早期に関係者との話し合いを行い、対応方針を検討する必要性をホームとして鑑みている。</p>		<p>事業所としても、チームでの支援の必要性を検討しているので、今後関係者全体の話し合いの機会を作り、本人や家族の状況の変化の度に、見直しを行いながら、チームでの方針の共有を期待する。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>声のかけ方など職員会で話し合い、利用者の誇りやプライバシーを損なわないように対応している。記録等個人情報は関係者以外に漏らさないよう管理にも留意している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>草むしり、買い物等、一人ひとりが望む生活を大切にしている。職員の都合に合わせてしまう場面がある場合は、職員同士が話し合いを行い工夫している。</p>		

グループホームひだまり

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事メニューは、利用者の好みも取り入れるよう配慮している。食事の準備、片付けなど自主的に出来る事をしている。五平餅やおやき作りの時は、利用者から教えてもらい楽しく作っている。利用者と職員は同じテーブルで食事を共にして、会話をしながら楽しい食事を獲っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望や体調に応じて、夕方から自由に入浴している。入浴を拒否する利用者には、無理に誘ったりせず、その時の様子をみながら一人ひとりの気持ちを大切にしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	手仕事、台所仕事、掃除、伝統行事など慣れた家事仕事の中でこれが私の役割となっている。敷地内にある畑や花壇の手入れ、外出、日向ぼっこなど楽しみや気晴らしとなっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、花壇や畑の手入れ・野菜の収穫、お花見、イチゴ狩等四季に応じた外出や地域の特性を活かした外出も積極的に取り入れ一人ひとりの楽しみに合わせて外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関も、日中は開放している。利用者が外出した場合は、さりげなく声かけして一緒についていく。又近所にも理解を願い、見守って頂く等の関係作りが出来ている。職員には、鍵をかける事の弊害を徹底し自由な暮らしを支援している。		

グループホームひだまり

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>職員間の連絡網と対応のマニュアルは作成されているが、避難訓練等実施されていないので、実際にどこまで対応できるか職員は不安であり、今後地域の協力体制も踏まえ体制づくりを検討している。</p>		<p>一人ひとりの状況も踏まえて災害時の具体的な避難対策、確実な避難誘導が大切である。地域の消防組織や、地域の協力体制を検討する計画もあるので、早期の実現を望まれる。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取記録に記入し摂取量を把握している。利用者の状況に応じて刻み食やお粥にするなど対応している。</p>		<p>食事摂取記録等記入し、職員間で情報は共有しているが、栄養バランス等を栄養の専門的観点からチェックしてもらおう等、本人の食生活を様々な面から支援していくことを期待する。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有のスペースは狭いが、それぞれの居室で過ごしたり、友達の居室を訪問したり、家庭的で暖かみを感じさせる共有空間など、安心してゆったりと生活できるホームとなっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は和室と洋室があり、それぞれに利用者が使い易いタンスや生活用品等セッティングされ、利用者は自分の物を大切に安心して使い、窓は掃きぬけで、ガラス窓と障子を使い落ち着いた雰囲気でのびのびと生活している。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。